

二部地区活性化だより

野上町の風

発行
二部地区活性化推進機構
愛称：二フ活
編集
総務部会

事務局

〒689-4233
西伯郡伯耆町二部1562-1
二部公民館内
TEL・FAX 0859-62-7159



参加者集合

カボチャ集合



ハロウィンイベント

10月16日(土) 二部小学校グラウンド及び二部体育館でハロウィンイベントを開催しました。

このイベントは、ファンクラブ部会が世代間交流事業として実施したもので、二部梁山泊、だんだんプロジェクトの団体と協働で行いました。今年は沢山のかぼちゃが集まり、かぼちゃにペインティングし、お気に入りのお化けかぼちゃを作りました。

お化けかぼちゃは、二部地内の県道から見やすい場所にまとめて陳列し、通行する人に見て頂きました。

出来栄は、どうでしたか……

また、思い思いの仮装をした子どもたちが、あらかじめご協力をいただいた家でお菓子を受け取りながら町中を練り歩きました。

当日は、雨降りで肌寒かったです。が、二部の町に子どもたちの楽しい声が響きました。

会 活 動 報 告

二部地区みんなで支え合い、 コロナに打ち勝とう！

山本芳史さんをおんで

計報を聞いたのは、昨年9月6日(月)の昼前でした。
イオンモール日吉津店で、西部地区公民館作品展の準備を終え溝口分庁舎に帰った時です。一瞬耳を疑いました。

金曜日夕方には、新型コロナ感染症第5波も終息傾向になり活動の目途が立ち、「9月から12月は、ニブ活の事業が多忙を極めるから一緒に段取りを組んでやりましょうね」「住みよい環境部会の部長も兼務しておられたので、そこらは特別にお願いしますね」と言われて別れたところでした。

聞いた瞬間のショックは、大きいものがありました。それほど山本さんを、頼りにしていたのだと改めて感じました。

山本さんは、集落支援員として、5年5ヶ月に渡りお世話になりました。

二部地区の集落課題解決への支援やニブ活の事務局として、地道に縁の下の方持ちとして、尽力して頂きました。

自分が、一昨年4月に公民館に、着任した時には、新型コロナ感染症の感染拡大で公民館事業やニブ活事業は、中止状態でした。その中でも、どのようにすれば、事業ができるかなど一緒に知恵を絞ってやって来ました。今では懐かしき思い出されます。

少々の事には動じず、皆に優しく対応される、まるで大きな船のような人柄でした。

今でも、出勤すると席に座ってパソコンを見たり、外でタバコを吸って「おはよう」と言ってくださる光景が目につきます。

二部谷の空から、二部地区の集落やニブ活を、いつまでも優しい笑顔で見守って下さい。

安らかに眠りください。

ニブ活事務局 公民館長 田村 茂樹

フアンクラブ部会

今年度は、新型コロナ感染症第5波の終息した、10月に事業を行いました。

昨年栽培したジャンボかぼちゃの種から苗を育て、5月に29の個人と団体に配布し、36個のジャンボかぼちゃを出品して頂き、世代間交流事業(ハロウィンイベント)を実施しました。

事業の実施に向けて、9月には二部梁山泊、だんだんプロジェクトの会員さんと合同会議を開催し、10月の開催に向けてコロナの対応策(密を避けるため、二部小学校グラウンドと体育館で開催)、募集人員、イベントの内容等を協議しました。

イベント当日(10月16日)には、受付を行ってから、ジャンボかぼちゃの重量当て、見映えを投票や仮装コンテストの写真撮影を行い、人気投票を行いました。

その後、二部宿内を仮装パレードしましたが、あいにく雨が降り大変でしたが子どもたちは元気に行進し、ポイント(5箇所)の家でお菓子等をもらいました。

また、体育館では、ジャンボかぼちゃにペインティングしてお化けかぼちゃを作り、クイズや表彰式を行いました。

作ったお化けかぼちゃは、二部地区内の県道から見やすい場所に設置し、通行の皆さんに見て頂きました。

部会長 車 睦宏

何事もなく、無事終了いたしました。後日参加者全員何事もなく一安心いたしました。

二部地区の皆様、二部梁山泊、だんだんプロジェクトの会員の皆様のご協力に感謝します。

また、10月23日に河崎公民館まつりに参加しました。新型コロナ感染症の影響で、飲食はなしで、作品展と農産加工品等の物販の開催で、例年に比べ参加者が少なかったです。

ニブ活からは、ブースに活動紹介パネルを展示し、物販コーナーに株式会社上代のどぶろくつくしの会のジャム等を展示販売しました。なかなか好評でした。

早く新型コロナ感染症が治まり、活気に満ちた活動がしたいと心から思いました。

部員の皆さん、活動に関わって頂いたすべての皆様に感謝申し上げます。活動報告といたします。



お化けかぼちゃ入賞作品

歴史ガイド部会

歴史部会の事業計画は、八項目を計画するも昨年同様コロナウィルス感染症拡大の為に、中止やむなしの項目もあり、また他団体との交流も一回きりとなり淋しい限りです。

事業計画により、旧街道踏査を小雨降る中車一台に分乗し出発。八幡神社にて宮司(内藤さん)より養老四年(七二〇)、宇佐八幡宮を祭ると伝えられると聞く。

米子市指定有形文化財の彫刻、木造二体女神座像、木造狛犬(阿形畔形二体ありと説明を受ける。その後、日野川車尾の渡しを確認の為、旧日野橋を東詰より西詰に徒走で渡る。

車尾の渡しに流される事になり、その際、天皇の娘である瓊子(たまこ)内親王十六才が天皇のお供を願って幼女に変装し一行の中に隠れたが見つかり、お供がかなわず京の都に帰らず隠岐の島に近いこの地米子の安養寺にとどまり、髪をおろし尼となり父との再会を祈りつつ、この地で二十四年の短い生涯を送った。

お寺の門や瓦には菊の御紋が残され、現在でも皇族墓所としてたたずまいが偲ばれる。菌型栗という民話があるが現在は枯れて残っていない。安養寺の宗派は時宗といい鳥取県内には二カ寺しかないとの事。そのあと南部町吉持家に立ち寄り帰路につく。

部会長 岡村 昌好



瓊子内親王墓

コロナに負けるな!

令和3年度

各 部

総務部会

部会長 足澤 秀基

部会で計画した事業は、広報の発行、視察研修及び他団体の受け入れ活動等です。

・二部地区活性化だより「野上川の風」発行

広報の発行は、二部地域の話題や課題、イベントの実施状況をお知らせしています。活性化機構の活動状況や参加状況を発信することで、会員みなさんの意見、要望、課題などを共有し、本会に生かすための事業と考えています。

本会が実施している活動も恒常化してきており、新しい取り組みも欲しいものです。

・視察研修及び他団体等の受け入れ活動等

今二部地域の抱えている過疎、空き家、耕作放棄などテーマは沢山ありますが、いずれも大きな課題ですぐに解決できる事項ではありません。

コロナ禍が続く、部会員での会議は控えており、課題や要望、意見等をまとめる協議等は出来ない状況でした。

研修場所の選定や、会員の要望聴取。今本会が抱えている課題の掌握など検討すべき事項が山積みとは感じますが、ほとんど取り組めませんでした。

役員会でも総務部会の現状を報告しつつ、参考意見もいただきましたが、結果的に方針が定まらず、視察研修も未実施となりました。

他団体の受け入れ活動等も結果として実績がありません。

本年度は当初から新型コロナウイルス感染の蔓延が続く、総務部会の活動は皆無でした。来年度はこのような状況から脱却し、地域の交流機会が可能となるよう期待しています。

ただ、今後も本部会では広報「野上川の風」を発行し、会員みなさんへの情報発信と課題共有を目指します。そのためには機構にたいする要望、意見、提案などを取り上げて、紙面の充実を図りたいと思います。

産業振興部会

部会長 金田 宏

令和3年度の産業振興部会の活動実施内容を報告します。

1. 農産物等の集荷支援について

5月13日から11月8日までの毎週月・木曜日に、東亜青果へ野菜の出荷を5人の方が行いました。

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、タケノコ出荷は、需要が見込めないため中止にしました。

この取組は、今後も行っていく予定です。希望される方は部会員や事務局に問い合わせをお願いします。

2. 盆花販売イベントについて

8月11日に、盆花の販売イベントを行いました。この日は、アスターや小菊を販売し、早朝のイベントにもかかわらず、多くの方に購入いただきました。

夏のイベントとして定着していますので、今後も引き続き実施していく予定です。ぜひご利用ください。

3. 農産物等の栽培支援について

今年度も前年度と同様に玉ねぎ苗の購入補助を行い、11月に協力農家へ玉ねぎ苗2万本を配布しました。

栽培希望者を広く募るため、チラシの全戸配布を行いました。

あまり問い合わせはありませんでしたが、やつてみようと思われる農家の方があれば、ぜひ参加いただきたいと思っています。

4. ふるさと小包便について

今年度もふるさと小包便の販売を二回実施し、夏と冬に60箱ずつ販売しました。首都圏や関西にも発送し、広く二部の味を全国に届けることができました。

きました。

今後も魅力的な商品をそろえながら、二部の良さを知ってもらおう小包便になるように取り組んでいきます。



ふるさと小包便（冬）品目

住みよい環境部会

副部会長 中田 京子

令和3年も新型コロナウイルスの影響で、社会福祉協議会がされる野外活動のボランティア参加が中止になり残念に思いました。

6月と11月の道路・河川の一斉清掃は、何百人もの住民の方の参加によってゴミが集められ、きれいになりましたが、まだこんなに捨てられているんだなあと考えさせられました。

友愛訪問実施で6月のおもてなし弁当配布、12月のクリスマスプレゼントも皆さんに喜んでいただき感謝の言葉をいただきました。

11月の菊花展も、6月の挿し芽配布から多くの方に育ててもらい、昨年にも増して沢山出品していただき、大変賑やかな菊花展になりました。

部会員で管理・手入れしている花壇は今、パンジーが花ざかりで春にはスイセン・チューリップが咲き、目を楽ませてください。部会員の皆さんの協力で色々な事業を実施することが出来ました。



一斉清掃（11月）の光景

健康スポーツ部会

部会長 住田 浩平

コロナに負けない体をつくろう

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の健康スポーツ部会の活動については、すべて中止とさせていただきます。楽しみにしてくださっていた方には申し訳ありませんが、ご理解いただきたいと思います。

部会としての活動報告が出来ませんので、新型コロナウイルス感染症に負けない健康な体づくりについて紹介したいと思います。

新型コロナウイルス感染症の影響により外出機会が減少することで、運動不足や食生活等の乱れ、生活環境の変化によるストレスの蓄積などのおそれが心配されます。ウイルスに負けない体をつくり、健康な状態を維持するために、次の点に心がけ、規則正しい生活を送りましょう。

●適度な運動

外出の自粛に伴い、身体活動が減少することでフレイル（心身の活力低下）が進むことがあります。フレイル予防のためにラジオ体操やストレッチなど、家の中でも気軽にできる運動で体を守りましょう。

●バランスの良い食事

活動量が少なくても、1日3食食べることで体が整います。外出を控えているときでも、食事は量より質（栄養バランス）が大切です。主食・主菜・副菜がそろったバランスの良い食事を食べましょう。

●お口のケア

お口を清潔に保つことは、感染症予防になります。毎食後、寝る前の歯磨きのほか、しっかりとよく嚥んで食べるなど口を動かすようにしましょう。

●適度な睡眠

質の良い睡眠はストレスを軽減させ、免疫力を高めると言われています。質の良い睡眠をするためには、規則正しい生活が大事です。

●心のケア

不安やストレスを継続して感じると気持ちや体、考え方にもさまざまな変化があらわれることがあります。つらいと感じる場合は迷わず相談機関を活用しましょう。

新型コロナウイルス感染症の終息については、まだまだ先が見えない状況にあります。まずは、基本的な感染対策を徹底し、ご自身の健康はご自身で守りましょう。

活動日誌

〈月日〉	〈内容〉
4月21日	二部地区活性化推進機構 委員総会(二部体育館)
4月30日	二部小学校クラブ活動支援（6年生：二部の文化遺産をつくろう）
5月13日	野菜出荷開始
5月31日	二部公民館花壇作業
6月2日	二部小学校クラブ活動支援（6年生：二部の文化遺産ポスター作製）
6月7日	間地峠道管理
6月12日	友愛訪問（おもてなし弁当）
6月18日	旧街道踏査（車尾から岸本）
6月20日	春の一斉清掃
6月30日	二部小学校クラブ活動支援（6年生：二部の歴史について）
7月16日	ふるさと小包便
8月11日	盆花販売イベント
9月24日	野上川の風（第41号）発行
10月8日	歴史講演会（講師：米子市立山陰歴史館 名誉館長 國田俊雄氏）
10月11日	二部小学校クラブ活動支援（6年生：二部文化遺産の現地見学）
10月16日	ハロウィンイベント
10月18日	二部小学校クラブ活動支援（6年生：足羽家見学）
10月23日	河崎公民館まつり参加
11月1日	現地研修（鳥取県立博物館）
11月4日	菊花展（3日間）
11月8日	歴史座談会（講師：安達哲也氏）
11月14日	秋の一斉清掃
11月24日	二部公民館花壇作業
11月25日	タマネギ苗配布
12月1日	二部小学校クラブ活動支援（6年生：学習の確認）
12月17日	ふるさと小包便
12月18日	友愛訪問（クリスマスプレゼント）
3月25日	野上川の風（第42号）発行